



第2580地区 東京豊島東ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

創立/1986年2月19日 (会長)稲川 一 (幹事)月井 雅夫
例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン TEL 03-3980-1111
事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-29-14-101 TEL 03-3985-7577 FAX 03-3590-6644
HP <http://www.toshimah-rc.jp> E-mail info@toshimah-rc.jp

第1290回例会

2013年6月5日

本日のプログラム

理事会(新旧合同) 11:15~12:00
例会 12:30~13:30
卓話 シューズバンクのプロジェクトについて
株式会社ジャスティスハウス 海外事業部マネジャー
バウティスタ マリッサ氏
紹介者 月井雅夫会員

次回のプログラム

例会 12:30~13:30
ホームミーティングの報告
A班 浅原英明会員
B班 時友雅行会員
C班 佐野明三郎会員

本日のソングリーダー 村上 芳明会員

6月のお祝い

【会員の誕生日】
西島貞枝会員 19日
島田謙司会員 28日
【夫人の誕生日】
櫛田由紀子夫人 9日
今田早苗夫人 16日
【結婚記念日】
有我信行・久美子ご夫妻 3日
榊原一久・靖子ご夫妻 15日

先週の例会報告 2013年5月29日

幹事報告

- 1、本日C班ホームミーティングがあります。最終ですので、まだ参加なされていない方よろしくお願ひします。
- 2、米山留学生の王さんよりクラブにメールが来ております。ご紹介します。

クラブの皆様、お久しぶりです。
去年の米山奨学生の王慧萍です。
まず、連絡が大変遅くなってしまい、皆様にご心配をかけてしまい、誠に申し訳ございませんでした。
クラブの皆様には手紙がハガキを送りたいと思っていますが、ここの郵便局の場所も手紙の送り方も全然分かりません。取り急ぎメールで皆様に挨拶することについて、本当に申し訳ございませんでした。
それに、先週末やっとカウンセラーの西島さんの電話番号をいっぱい荷物の中から見つけて、西島さんに電話しま

した。
去年日本にいた時、皆様のおかげさまで、楽しい生活を過ごしました。
3月末に皆様と別れて、4月26日にモスクワに来ました。言葉が全然通じないため、まだ慣れない所がいっぱいで、何事も試行錯誤中です。
モスクワに家族と一緒に暮らすことができてほっとしますが、はやく自立してなんでも最初から学ばなければいけないと思っています。
最初は大変だと思いましたが、できる限りここの生活に早く慣れるように頑張ります。
よろしければご連絡ください。

■ゲスト

元日本テレビアナウンサー次長

松永 二三男様

■出席報告

会 員	出席参加 会員数	出席数	欠席数	出席率	5月15日分 修正出席率
32名	29名	23名	6名	79.31%	92.86%

ニコニコBOX

斉藤会員/松永二三男さん、本日の卓話のお願い気持ち良くお受けして頂き、ありがとうございます。

稲川会員/東京6大学野球で、母校立教大学がAクラス3位が決定!! 久しぶりですね。うれしいのでニコニコします。つけたしですが、明治大学は優勝おめでとうございました。

浅原会員/ホームミーティングA班は先週水曜日、午後6時より「魚盛」にて開催致しました。参加者は稲川会長、月井幹事、前川さん、佐々木さん、平山さん、村山さん、村上さん、他の班より大林さん、新倉さんそして班長の浅原、計10名と事務局の村田さんに手助けいただき

ました。その時のテーマ財政難と云うので、会費を余分に頂きニコニコすることも決まりました。本日で指示通りニコニコ致します。皆様、ご協力ありがとうございました。

前川会員／次期幹事の有我さんによれば、当クラブは自分の経費を自分で賄えない人数になったとの事です。会社で言えば倒産状態に近いでしょう。全員が危機感をもって乗り切りましょう。いいクラブなのですから。

櫛田会員／孫が春の運動会で実力以上の活躍だったと喜んでおりました。私はその100倍喜んでおります。

山元会員／胸腹部動脈瘤に対してステントグラスト挿入手術を行いました。お陰様で破裂防止策は成功しましたが、前準備やら検査の為に日数が掛りました。3週間ベッド生活で9kg体重が減少しました。ニコニコまで。

第1289回例会

卓 話

アナウンサーの世界

元日本テレビアナウンサー次長
松永二三男氏



私は昭和49年、日本テレビに専門職アナウンサーとして入社し、30年間で、スポーツ（箱根駅伝、世界陸上、プロレスなど）、ニュース（お昼のニュース、きょうの出来事スポーツ&ニュース）、ワイドショー（ルック・ルックこんにちは、壮絶バトル花の芸能界）、バラエティー、山田洋次監督映画作品2作品出演など経験しました。また管理職としては「新人アナウンサー、系列アナウンサー」研修指導など担当し、その後この30年の日本テレビの顔としての存在を活かし、事業局で「放送外収入」を稼ぐために約7年間働き、2011年4月末、60歳で定年退職致しました。

さて、アナウンサー30年間は、一言で言えば「楽しい人生」でした。

昭和49年入社。前年48年は「オイルショック」の年。トイレットペーパー・石油・食糧の買い占めなど社会が、何かに押しつぶされそうな雰囲気景気が沈滞。そんな年に大学4年の就職活動ですから、大変でしたが、私は「小さい頃からの夢DJになりたい」という思いで、その夢を追いかけていましたので、一般の企業や金融業界に進もうという仲間と違って、私は別の視点にいたので、世間的な大変さ

は余りその時には感じませんでした。

しかし、私は募集人員若干名のアナウンサー試験を受けるわけです。今思えば一般企業を受験するよりももっとも厳しいのですが、「怖い者知らず」です。まっすぐに勝負です。その為に、明治大学での4年間「放送研究会」に所属して「発音・発声」の練習、ラジオドラマ脚本執筆・演出、3年生から「マスコミゼミナール」で、日本のマスコミの歴史（主に新聞）を勉強し、4年次卒論に代わる新聞をゼミ仲間と発行しました。この2年間のマスコミゼミで鍛えられました。元新聞社政治部長で元週刊誌編集長の方が、自分の体験からお話をされました。私は大いに興味を抱き、「夢」が近づくことを感じながら勉強しました。毎週1回90分の講義です。あっという間に終わり、最後に作文の題を出され、一週間後書き上げた作文を提出。さらに一週間後「赤」を入れて作文を返して頂きます。自分の発想の第三者的評価を先生が「赤ペン」を入れて返して下さいます。何か繋がっている感覚があり、益々やる気が出て来ます。ある時の作文の題は「資源論」でした。殆どの仲間が、「鉱山的、海洋的な自然エネルギー資源論」に終始して書きあげたようです。私は「人間の考える力を資源と考えました。無料で無限なこの考える力こそ、自然エネルギーに恵まれてない日本の活力になる。考える力がこれからの日本のエネルギーである。」と書いて先生に提出しました。翌週却って来た私の原稿には赤ペンで三重丸が付いていました。いきなり三重丸をもらえたわけではなく、何度も何度もダメだしをもらって、やっとたどり着いた三重丸。これで自信が付きまして。まさに「継続は力なり」です。

アナウンサーの入社試験は、もちろん発音・発声のマイクテストは必修ですが、絞られてきた人間が受ける一般常識問題、英語、に加えて作文も大きなポイントを抑えていますので、作文で自信を付けて本番に臨めたのは自分にとって最強の武器となりました。

さて、アナウンサーは忙しいです。「ルック・ルックこんにちは」は月～金曜日まで朝8時半～10時半まで2時間生放送。朝6時には、ひげを剃って、髪型を決め、スーツ姿で打ち合わせに入り、取材者・リポーターと出来上がったVTRを確認します。全部で5～6本。その後生ゲストとの打ち合わせをし、本番5分前にスタジオ入り。本番終了後に本日の反省会、並びに明日の打ち合わせ。12時半昼食。午後はスポーツの取材、資料整理など夕方まで勤務をして帰宅。土・日曜日はスポーツイベントがあれば取材、中継担当。無ければ基本的に休みです。秋～冬は超多忙です。箱根駅伝取材が毎週末あって、月～金曜日まで生のワイドショー担当ですから、一ヶ月に休めるのが1～3日くらいです。でも「やりがい」があり「生きがい」になります。皆さんがこれからラジオ・テレビでアナウンサーを聴いたり、見たりしたら忙しい仕事をみんな「やりがい」「生きがい」を持って使命感あふれる仕事をしているんだと思って頂ければ幸いです。